

第2研究班

継続看護における連携システムの構築

研究班代表者 富川孝子
新潟県立看護大学（精神看護学）

Building Cooperation Systems in Continuous Nursing

Takako Tomikawa
Niigata College of Nursing (Psychiatric Mental Health Nursing)

研究班の概況

第2研究班は、平成14年度の研究活動をふまえて、さまざまな健康問題をかかえる人々とその家族を対象として、保健・医療・福祉の連携に関する現状の問題点、連携に必要な条件等を引き続き検討した。「継続看護」とはケアネットワークや地域ケアシステムの構築を意味し、「病院から地域へ」という方向のみならず、救急時の「地域から病院へ」という方向も含んでいる。保健・医療・福祉の連携は今後も取り組まなければならない重要な課題である。

本研究班は5つの研究グループから構成され、各グループの研究テーマは以下の通りである。

(1) 加藤グループ

研究テーマ：退院状況の実態に関する研究—入院延長の要因の検討—

研究代表者：加藤光寛、共同研究者：直成洋子、酒井禎子、飯田智恵、樺沢三奈子、
本宮みどり、牧 優子、小野塚栄子、岡田恵子、渡辺初美、熊木留美

(2) 田中グループ

研究テーマ：療養型病棟患者の退院後の在宅ケアを効果的に継続させるための退院指導に関する研究
—退院後に必要な在宅におけるケア内容・介護者・介護システム—

研究代表者：田中キミ子、共同研究者：北川公子、柏木夕香、唐澤千登勢、
宮島ひろ子、小熊波重、矢澤紀子、樋口あきみ、萬場知子、瀧澤由佳、高橋恵子、
梅澤美紀子

(3) 富川グループ

研究テーマ：新潟県における精神障害者ホームヘルプサービスに関する研究

—地域ネットワーク構築における個人情報の提供と保護に焦点をあてて—

研究代表者：富川孝子、共同研究者：俊成晴奈、丸田明美、清水美和子

(4) 加固グループ

研究テーマ：小児救急医療に関する保護者の要望—上越地域の質問紙調査結果から—

研究代表者：加固正子、共同研究者：大久保明子、金井幸子

(5) 中川グループ

研究テーマ：介護度の高いパーキンソン病患者の生活の“快適さ”に関する研究

研究代表者：中川 泉